



SUZUKA  
NATIONAL  
HOSPITAL

# 鈴鹿の風

2009.5

第6号

「独立行政法人 国立病院機構 鈴鹿病院」ニュース

## <病院理念>

- 私たちは、国民に奉仕する立場から、政策医療である筋ジストロフィー・重症心身障害・神経難病の分野において、患者様本位で質の高い専門医療を提供します。
- 私たちは、充実した医療と健全な経営を心掛け、常に意識改革を怠りません。



撮影：院長 小長谷正明「白鷺 五条川にて」

## Contents

- 1 ■ ごあいさつ 鈴鹿病院と1500年前の患者さん
- 2 ■ トピックス 検査のお仕事
- 3 ■ 看護だより 外来のご紹介
- 4 ■ 療育通信 筋ジストロフィー病棟(第5病棟)における音楽療育の取り組み  
平成オタクコラム～プロ野球編～
- 6 ■ 外来診察担当表／交通案内／編集後記

## 鈴鹿病院と1500年前の患者さん

国立病院機構 鈴鹿病院長 小長谷 正明

当院、国立病院機構鈴鹿病院は、脳や末梢神経、神経や筋肉の病気で、手足などに障害がある患者さんのための病院です。戦争中、1943年に亀山陸軍病院としてスタートし、戦後は国民病と言われた結核の療養所でした。結核が治るようになったので、1964年に筋ジストロフィーなどの進行性筋萎縮症の病棟を開いたのが、現在の当院医療の原点となっています。神経系や筋肉の障害では手足だけでなく、ものを食べたり、喋ったり、呼吸するなどの動作もしにくくなりますし、時には心臓の問題さえ起ってきます。もちろん、今日の医療で考えられるだけの治療を、薬や人工呼吸器、ペースメーカーなどを使って治療していきます。根本的治療ではないにしても、病気によっては10年以上の延命効果をあげ、患者さんの生活の質QOLは確実によくなっています。秋の新病棟完成で、さらに医療は充実するでしょう。

さて、今から1500年くらい前に、当院の目の前で、神経の病気で筋肉が動かなくなって亡くなつたらしい若者がいました。お名前を日本武尊とおっしゃいます。

東国征伐から熱田に戻った尊は荒ぶる神を退治しようと勇んで行った伊吹山をで意識混濁を起こし、その後、手足が麻痺して歩けなくなりました。古事記の時代ではたたりということになりますが、現代医学では、急性の末梢神経障害のように思えます。

伊吹山のふもとの醒ヶ井で意識混濁からさめましたが、歩行困難が日に日に悪くなり、四日市の采女(うねめ)に来た時に、症状が重くなりました。

「吾が足は、三重に勾(まが)れるが如くして、甚だ疲れたり」

この嘆きが、おそれ多くも三重県の語源となったのですし、今も国道一号線にある杖つき坂も、尊の杖から来ている名前です。さらに、西へほんの数キロ、鈴鹿山麓の能褒野で力尽き、「大和は国のまほろば…」の望郷の歌などの哀切な辞世を残して、こと切れました。

能褒野とは、鈴鹿山脈麓のなだらかな高台全体をさす言葉です。病院のそばには、尊を葬った白鳥塚がありますし、昔は病院のあたりは高宮と呼ばれていました。尊を弔に来た父の景行天皇の行在所があったためでしょう。

つまり、若い頑強な男性が意識障害の後に歩行障害となり、数日のうちに衰弱死したのです。古事記を読むと、病状進行の時間的プロセスが読み取れるほどです。神経内科医である私の解釈では、意識障害を呈する先行感染の後に、亜急性の経過を辿った神経疾患で、死因は呼吸筋麻痺です。ギラン・バレー症候群という、免疫異常による末梢神経の病気とされます。下痢や発熱などの後に手足のしびれや麻痺が起り、ひどい場合は横隔膜まで麻痺して呼吸不全で亡くなります。下痢や発熱の病原体に対する免疫反応が自分の末梢神経にも起ってしまう病気です。ある種の細菌やウイルスやリケッチア等が原因ですが、インフルエンザやワクチン接種後の発症が問題になったこともあります。

現在医療ならば、免疫抑制剤を使い、あるいは血漿交換をし、しばしば起る電解質異常に気をつけながら、誤嚥防止をはかり、呼吸不全には人工呼吸器を使って、思う訳です。きっと、助けられたでしょう。もっとも、1500年の時空はいかんともしがたいのですが、まさに日本武尊終焉の地に神経難病専門の当病院があるのも何かの因縁です。これからもしっかりとやっていきたいと思えます。

## 検査のお仕事

研究検査科 臨床検査技師長 横山 茂

皆さんは「けんさ」と聞いて何を思い浮かべますか？同じような言葉には〇〇調査とか△△点検、横文字になると××テストなどがありますね。さらに刑事もののドラマでは容疑者の取り調べとか鑑識の結果とか、どれをとってもあまり良い気持ちにはなれませんね。きっと病院で検査を受ける前の心境も「何か悪いものが見つかったらどうしよう。」とか「前よりも数値が悪くなっているのでは……」といった感じでしょうか。患者さまと直に接しながら行なう心電図や脳波、超音波検査などの生理検査では、そのような皆さんの緊張感をときほぐし、少しでもリラックスしていただけるよう心がけています。それは、脳や心臓から発せられる微弱な電流を正確に取り込んで、正しい診断をするためにも大切なことなのです。また検体検査では、血液に限らずいろいろな体液を材料とします。その中のさまざまな成分の濃さやはたらきを化学的に測定したり、病気の原因となる微生物を見つけ出し、どの薬が効くのかを検査したりします。他にはからだの細胞を取って顕微鏡で診断する細胞診や遺伝子検査などがあります。

ところで皆さんは精度管理という言葉をお聞きになったことがありますか？よくご存知のGOTやコレステロールなどの検査は分析装置が結果を数値で出してくれます。それらの結果がいつも正しく測定されているかどうかをチェックするのが精度管理です。たとえば、あらかじめ正しいGOTの値がわかっている特殊な検体(管理血清といいます)を毎日何回か測定し、そのとき測定された値と正確な値とのずれや何回か測ったときのばらつき具合をチェックします。そうすることによって分析装置や検査試薬の状況や傾向がわかり、もし問題があれば原因を調べ、正しい結果が出るようになるまでは、皆さまから採取された大切な検体を測定することができません。このように、日々の精度管理があってはじめて数値やプラス・マイナスの結果が出てゆくのですね。実はこの仕事、形となって皆さんの前に姿を現すことはありませんが、私たち臨床検査技師の最も重要な役割の一つなのです。鈴鹿病院では3名の技師が生理検査や検体検査の業務にあたっています。これからも、医療に必要な、質の高い、信頼性のある科学的情報を提供し続けていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。



## 看護だより



### 外来のご紹介

外来看護師長 西 治 世  
看護師 水流 千晶  
看護師 浅井 由香

当院では、内科、循環器科、神経内科、小児科、整形外科、リハビリテーション科、皮膚科、歯科の8科の外来診療を行っています。筋ジストロフィー、重症心身障害、神経難病の患者様をはじめ、高血圧、呼吸不全といった一般内科の患者様、骨折、皮膚科疾患等の様々な患者様を診療しています。

病院の外来といえば、たくさんの患者様が来院され、一人ひとりの診療時間も限られ、看護師とじっくり会話をする時間も取れないと思われがちです。しかし当院では、比較的ゆったりとした時間を持ち、外来看護師と会話をすることが出来ます。医師も一人ひとりの患者様に対して、じっくりと話を聞き対応しています。

慢性の患者様が多く、抱えている不安、悩みは大きく、それを支える家族も患者様とともに悩まれていると思います。そこで待ち時間を活用し、看護師に言葉をかけていただいたり、こちらから

言葉をかけさせていただいたりしています。

患者様の声に耳を傾けるだけでなく、心も傾けて、医師、ケースワーカー、栄養士、薬剤師、理学療法士などと連携をとり、よりよい日常生活が送れるよう応援しています。少しの悩みでも、お気軽に外来看護師に相談してください。

また在宅の重症心身障害児者を対象としたB型通園事業で、看護を担当させていただいています。通園では患者様の急変時の対応、安全管理などを行うのはもちろん、児童指導員、保育士と共に療育活動にも積極的に参加しています。通園利用者のご家族との情報交換を密に行い、通園でも、家庭でも安心安全に過ごしていただけるよう支援しています。

私たち看護スタッフは、当院看護課理念でもある「ぬくもりと安心」をモットーに、患者様一人ひとりに合わせた対応を行えるよう日々、外来看護に取り組んでいます。



### 筋ジストロフィー病棟(第5病棟)における音楽療育の取り組み

保育士 蒔田 千里  
児童指導員 篠原 麻綾

当筋ジストロフィー病棟は他の病棟に比べ、中高年層および老年期の筋ジストロフィーの患者様が多く、認知症を合併されている方もいます。その方々を対象とし、心理療法やリハビリテーションの1つとして用いられている音楽療法を、心身の機能維持・低下防止・回復などを目的として療育活動に取り入れました。

音楽療育の内容は、季節の移り変わりを感じてもらいやすいよう、患者様が慣れ親しんだ音楽(童謡・唱歌など)を中心に選曲し一緒に歌唱したり、季節に応じた小物や絵カードを利用し患者様に提示したりして進めています。また、リズムを体で感じてもらえるような楽器演奏や、療育者がリズムに合わせて患者様の体に触れるなどしながらスキンシップを図るようにしています。

患者様は、病気の進行に伴い様々な状態の方がいます。気管切開で呼吸器を装着しながら声が出なくても歌詞カードを見て口を動かし歌ったり、自ら好みの楽器を選んで演奏したり、活動時にお隣の患者様同士で声を掛け合ったりすることで、笑顔がみられることも多くあります。また最近では音楽療育の活動を楽しみにして、「次はいつ?」と聞いてくれるようになりました。

今後も、医療スタッフの協力のもと、患者様が参加しやすい環境を作ると共に、QOLの向上に貢献できるような音楽療育を提供できるように努めていきたいと思っております。



### 平成オタクコラム～プロ野球編～

昨年のプロ野球は埼玉西武ライオンズがジャイアンツを下し日本一の栄冠に輝いた。日本シリーズの勝敗は西武が○●●○●○○の4勝3敗であり、この勝ち負けの順番は、奇しくも1983年のやはり西武対巨人の日本シリーズと全く同じであった。今から四半世紀前である。巨人の原監督は入団2年目で既に主力打者、西武の渡辺監督は前橋工のエースで、その年のドラフト会議で西武に入団している。現横浜の工藤公康は2年目ながら中継ぎ要員としてベンチ入りしていた。いまだ現役を続けているのは彼一人である。

巨人の投手陣には江川、西本の両エースに加え、その年ブレイクした槇原がいた。名電の工藤、大府の槇原は愛知高校球界の3羽ガラスといわれ(もう一人は愛知高校の浜田)ライバルであった。西武は前年も中日を破り日本一を達成しているが、球界の盟主を自称する巨人を倒してこそ本物の日本一であるとの気持ちが強かった。そもそも西武が球団を買った理由というのが、ドラフトでクラウンライター・ライオンズが江川の交渉権を有していたからなのである。「九州は遠いから…」と入団を拒否していたため、埼玉を本拠地に据える西武であれば獲得可能と考えた訳である。しかし、江川はあくまで拒否し、有名なドラフト破りの末、巨人へ入団した。そうした因縁もあり、新興西武と伝統の読売巨人の対決は世の注目を集めた。

勝負は激戦に次ぐ激戦の末西武が勝利を収めた。特に第6戦、先に王手をかけ、勝てば日本一という巨人が、9回裏2死で1点リードの場面で藤田監督が胴上げに備えてウインドブレーカーを脱いだ直後に西武が同点に追いつき、延長戦の末西武がサヨナラ勝ち。勢いづいた西武は第7戦も勝って日本一を達成する。あとワンアウトで勝利を確信した名将藤田の一瞬の油断が敗戦につながったとして後々語り継がれることになったのである。

(神経内科部長 久留 聡)

## 外来診察担当表 (2009年5月1日 現在)

	月	火	水	木	金
神 経 内 科	小 長 谷	酒 井	松 本	小 長 谷	久 留
内 科 (循 環 器 科)	奥 村 (循 環 器)	木 村	安 間 (循 環 器)	安 間 (循 環 器)	野 口(雅)
小 児 科	予 約	予 約	予 約	予 約	予 約
整 形 外 科		田 中(信) 午後(装具)			田 中(信)
リハビリテーション科					田 中(信)
歯 科	野 口(佳)		松 村	田 中(宏)	
皮 膚 科		武 市			

- ◆ 外来受付は8:30~11:00、診療開始は9:00~です。
- ◆ 歯科は身体障害者の方に限ります。
- ◆ 装具外来は火曜日の午後1:30から整形外科で受付いたします(あらかじめ電話予約のうえお越し下さい)。
- ◆ 小児科外来は担当医とご相談のうえ、ご予約下さい。
- ◆ 土曜日、日曜日、祝祭日は休診とします。



### 交通案内

- ◆ JR「加佐登」駅より徒歩8分
- ◆ 東名阪「鈴鹿」J.I.C.より車8分
- ◆ 近鉄「平田町」駅よりタクシー15分
- ◆ 三交バス(荒神山行き/椿大神社行き)「加佐登神社前」下車すぐ
- ◆ 鈴鹿市西部地域コミュニティバス 椿・平田線「26加佐登神社」下車すぐ

## 看護師募集

ぬくもりと安心の看護の提供を  
一緒にしてみませんか！

即、お電話を！ 随時受け付けています。  
(看護課)

### ◆ 発行

平成21年5月  
独立行政法人 国立病院機構 鈴鹿病院  
〒513-8501  
三重県鈴鹿市加佐登3丁目2番1号  
Tel. 059-378-1321(代)  
Fax. 059-378-7083  
<http://www.hosp.go.jp/~suzukaww/>

### 編集後記

新病棟の骨格が、やっと地上に顔を出し、病棟完成が間近に見えてきた。皆様が待ち望んでいた鈴鹿病院元年の始まりです。そして新しい環境の基に、新しい情報を「鈴鹿の風」により発信していきたいと思っております。

皆様から多数のご意見、ご感想をお待ち申し上げます。

(中林正一)